

大正 14 年(1925)創刊の『JTB時刻表』

通巻 999 号[2009 年4月号]を3月 25 日(水)発売

5月号[4月 20 日(月)発売]で 1000 号に！



【2009 年 4 月号表紙】
©松本零士

- 通巻 999 号の表紙に、松本零士氏の『銀河鉄道 999』オリジナルイラストを起用！
- 4月 20 日以降、1000 号を記念したプレゼントキャンペーン、フォトコンテストの実施や、時刻表通巻 1000 号特設 Web サイトも開設予定

JTBグループの出版事業会社、株式会社JTBパブリッシング(東京都新宿区、代表取締役社長:江頭 誠、以下JTBパブリッシング)は、大正 14 年(1925)に創刊以来通巻 999 号となる『JTB時刻表 4 月号』を3月 25 日(水)に発行する。4月 20 日(月)発売予定の『JTB時刻表5月号』で通巻 1000 号となる。

鉄道、バスを始めとする交通機関の情報に加え、巻末には全国の旅館やホテル案内もある時刻表。旅行ガイドブックが普及していなかった時代には、1冊で旅行や出張に事足りる、“旅行情報の百貨店”としての役割を果たしてきた。検索機能に優れたインターネットが普及した現在でも、ページ内で一度に前後の列車時刻を比較できる見やすさや、雑誌ならではの保管性などから支持者が多い。

999 号の表紙では、“999”にちなんで松本零士氏による人気漫画『銀河鉄道 999』のオリジナルイラストを起用。時刻表が刻んできた過去の歴史と、現在、そして未来への夢を託し、同じ鉄道をモチーフに宇宙空間を旅する銀河鉄道のイメージを重ね合わせた。時刻表の歴史の中で表紙に漫画やアニメを採用したのは今回が初めて。

1000 号発刊を記念し、999 号および 1000 号で、これまでの歩みを振り返る企画特集を組む。また、4月 20 日～10 月末までの期間中、『JTB時刻表』を始め鉄道ジャンルの図書を対象にしたプレゼントキャンペーンや、読者から交通機関の写真を募集するフォトコンテストなどを実施する。キャンペーンの概要や鉄道関連の新刊が見られる時刻表通巻 1000 号特設 Web サイトも開設予定。

『JTB時刻表 4 月号』(通巻 999 号)の概要は次の通り。

■ 概要

- ・判型; B5判
- ・定価; 1,150 円(税込)
- ・発売日; 2009 年3月 25 日(水)
- ・企画特集; 大正-昭和-平成 鉄道史の語り部“時刻表”のあゆみ

〔1000 号までの歩み〕

『JTB時刻表』創刊は大正 14 年(1925)4月に日本旅行文化協会(JTB の前身)が発行した、鉄道省運輸局編纂『汽車時間表 附汽船自動車発着表』に始まる。当時、鉄道省が「汽車時間表」を部内用に不定期に作っていたものを一般向けに翻刻*1(ほんこく)し発売したもの。以来、鉄道を始めとした交通機関の運転時刻と共に、大正～昭和～平成の鉄道の歩みや時代を映してきた。

創刊号は244ページで、定価50銭。タテ200×ヨコ228ミリと横長で、それまでの資料が漢数字タテ書きだったものから、算用数字ヨコ書きによる斬新なレイアウト。路線図から時刻表掲載ページを引くスタイルは、既に創刊号から見られた。



【創刊号表紙】

昭和 19 年(1944)は、全国版としての発行は5回のみ。終戦直前の昭和 20 年(1945)7月には紙 1 枚だけの時刻表が発行された。

終戦後は昭和 20 年9月に復活。昭和 23 年(1948)12 月号から再び月刊となり、236 ページで全国版の時刻を掲載し始めた。昭和 31 年(1956)12 月号で 418 ページになり、“東海道本線全線電化”や、東京駅～博多駅間の特急「あさかぜ」の記載が始まる。昭和 30 年代～40 年代の高度成長期は鉄道の発達もめざましく、観光旅行ブームと相まって、行動範囲が広がり時刻表の発行部数が大幅に増加する。特急「あさかぜ」といえば、雑誌『旅』*2で松本清張氏の名作『点と線』に登場(昭和 32 年2月号～昭和 33 年1月号まで連載)。時刻表がトリックの重要なカギを握るアイテムとして使われ、当時、斬新な構想が話題となる。

昭和 38 年(1963)8月号では表紙に初めてカラー写真を採用。

東京五輪開催で沸いた翌昭和 39 年(1964)、10 月1日開通の東海道新幹線が 10 月号の表紙になると、その後も京都や富士山などをバックに、今では見られない0系新幹線が一年間表紙を飾った。昭和 45 年(1970)の3月号～8月号では大阪万国博のパビリオンの写真が表紙に使われた。

昭和 50 年(1975)3月号(山陽新幹線岡山～博多間開業)は、東京発着の寝台特急だけで 10 往復を掲載。遠距離の移動に飛行機より寝台列車が重宝されていた。

昭和 62 年(1987)4月1日、国鉄の分割民営化に伴い、書名も4月号より『国鉄監修 交通公社の時刻表』から『交通公社の時刻表』へ、翌昭和 63 年(1988)には『JTB時刻表』になった。平成 13 年(2001)からはインターネット版時刻表『スパナビ』も配信している。

*1翻刻(ほんこく)…原本のままの内容で再び出版すること。

*2雑誌『旅』……大正13年創刊の旅行雑誌。当時、日本交通公社が発行していた。

《報道関係の皆様のお問合せ先》 JTB広報室 03-5796-5833
《一般のお客様のお問合せ先》 JTBパブリッシング 03-6888-7893